

平成29年8月1日

文 部 科 学 省

## 「大学等関係機関への再就職の自粛」に関する今後の対応について

文部科学省における再就職等問題につきましては、本年3月30日に公表した「文部科学省における再就職等問題に係る調査報告（最終まとめ）」において、「調査を通じて考え得る再発防止の在り方」が示されております。

これを具体化するため、法律やコンプライアンスの専門家などの外部有識者により構成される「文部科学省における再就職等規制違反の再発防止策に関する有識者検討会」（以下「検討会」という。）において検討が行われ、7月27日、検討会において、「文部科学省における再就職等規制違反の再発防止策に関する提言」（以下「提言」という。）がとりまとめられました。

提言においては、より定常的に再就職等規制違反行為の監視・防止が可能となるよう再就職の適正化に対応する業務を担当する組織体制を整備するとともに、文部科学省における再就職等規制に係る業務の客観性を高め、職員又は職員OBの再就職の適正性を確保するため、弁護士等の第三者により構成されるコンプライアンスのチェックのための体制（コンプライアンスチーム）を整備することが求められております。

提言を踏まえ、文部科学省においては、8月1日、大臣官房総務課に再就職コンプライアンス室を設置するとともに、再就職コンプライアンスチーム（以下「コンプライアンスチーム」という。）を設置しました。

文部科学省においては、3月3日付で、当省の許認可や財政支出の対象となっている大学、研究機関等の関係機関への再就職について、疑惑を払しょくできる体制を構築するまでの間、一律に自粛をお願いしてまいりました。今後は、再就職コンプライアンス室による定常的な違反行為の監視・防止及びコンプライアンスチームが行う第三者チェックによる新たなチェック体制の下、再就職に当たって適正を期していただくよう、関係者に対して、再就職等規制に関する法律の遵守等について周知・徹底を図ってまいります。

今後、今般取りまとめられた再発防止のための取組を着実に実行し、すべての職員が「日本の未来を創る」という文部科学行政の使命を共有しながら、職員一丸となって与えられた職責に全力で取り組んでまいります。